

# あらかわ



## 区議会だより

No.196

平成20年8月10日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

平成20年第2回定例会号



### 第2回定例会日程

- 6月20日 本会議
- 6月23日 本会議
- 6月25日 総務企画委員会
- 6月27日 福祉・区民生活委員会
- 6月27日 文教・子育て支援委員会
- 6月30日 建設環境委員会
- 7月2日 福祉・区民生活委員会
- 7月2日 議会運営委員会
- 7月3日 本会議

**区議会第2回定例会**  
**一般会計補正予算など**  
**議案13件を可決**

区議会第2回定例会が、6月20日から7月3日までの14日間の会期で開かれました。  
本会議の1日目には、3人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。  
本定例会では、議員から意見書3件と区長から議案10件が提出され、いずれの議案も原案どおり可決されました(議案の審議結果は4面に掲載しています)。

### 掲載記事のご案内

3面・2面  
区政のことを  
一般質問要旨  
茂木 弘 議員(自民党)  
横山 幸次 議員(共産党)  
中村 尚郎 議員(公明党)  
区議会ホームページ  
採択した請願・陳情  
意見書提出

4面  
永年在職議員表彰  
全国市議会議長会における議員表彰  
鈴木堅之議員逝去  
議案の審議結果  
議席図

# 区政のいまをわく

## 一般質問要旨

### 西川区政3年半の総括、教育について



茂木 弘  
(自民党)

#### 西川区政3年半の総括

**問** 西川区長は、その豊富な人脈と強力なリーダーシップにより区政改革を実行し、財政も健全化することができた。「集合住宅の建築と管理に関する条例」の制定、東京藝術大学との連携、障害者の自立支援のための特例子会社の誘致、「進夜間小児初期救急センター」の開設や区立幼稚園での3歳児保育など、区民の幸福実現のため、様々な施策を実現させたことを高く評価している。そこで西川区政3年半を振り返っての総括、今後に残された課題をどのように解決するのか、また区長選に対する決意を問う。

**答** 区への信頼回復と区民福祉の向上に全身全霊を傾けることを区民の皆様が誓い、区長に就任し、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメインのもと、新たな発想で500以上の新規施策や充実施策に果敢に取り組んできた。今後も持っている力をすべてを区政に注ぎ込んでいく所存

である。これまで様々な課題に取り組んできたが、解決までに長い道のりを要する課題が残っている一方、新たな課題も日々発生しており、区政運営は一時的たりとも立ち止まることは許されな。さらなる区民の幸せの実現のため、区長としての重責を引き続き担うことができればこれにすぐる幸せはないと考え、継続の決意を固めたことを表明する。

#### 教育について

**問** 教育の荒川区を標榜する区として、独自の取り組みを充実させ、教育水準の向上のために、独自の教員採用について検討すべきではないか。また、実力のある教員の育成や優れた人材の確保のために、教員の人事権を市区町村に移譲すべきと考えがどうか。

**答** 区の独自採用の教員は、義務教育国庫負担制度の適用、広域人事制度の利点などにおいて課題があるが、その効果や課題を調査研究していく。教員の人事権は、地域の実態に即した教育行政を長期的に行うため、都から区に移譲すべきと考えており、特別区長会や全国市長会を通して、国に働きかけ、早期実施を努めていきたい。

### 高齢者の命とくらしを守るために、子どもの貧困の連鎖を断ち切るために



横山 幸次  
(共産党)

#### 高齢者の命とくらしを守るために

**問** 高齢者医療や介護の抑制をねらった「社会保障構造改革」について認識を問う。また、後期高齢者医療制度の廃止を固く対し、強く求めるべき。

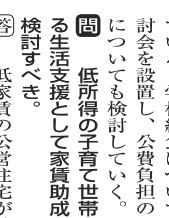
**答** 社会保障制度全般にわたる課題を解決し、将来にわたり持続可能なものにしていく制度改革は避けられないと考える。後期高齢者医療制度の、最も重要な点は、本制度を改めて検証し、デメリットの改善を図ることである。各方面の意見を踏まえ、制度の内容や周知方法等の議論を進め、国に対して積極的に意見を述べていく。

#### 最低生活費を割り込む高齢者に対する介護保険料、国保・後期高齢者医療保険料の免除制度を検討すべき。

**問** 最低生活費を割り込む高齢者に対する介護保険料、国保・後期高齢者医療保険料の免除制度を検討すべき。

**答** いずれの保険料も低所得の方については、軽減措置がとられている。また、保険料は被保険者の応分の負担により、皆で支えあうことを前提とした制度であり、保険料の免除は望ましくない。

### 子どもの貧困の連鎖を断ち切るために



#### 子ども貧困の連鎖を断ち切るために

**問** 子育て世代の実態を示す「子育て支援需要調査」に基づき、区ほどのように事業の改善を図っていくのか。

**答** 本調査の結果を踏まえ、事業展開を図っている。今後も子育て世代の意見、要望に対応した子育て支援施策の推進に努めていく。

**問** 義務教育無償の原則に近づけるため、「学校給食」「教材教員」などの公費負担のあり方を検討すること。

**答** 生活保護や就学援助等、経済的な支援により、教育の機会均

### 荒川区議会ホームページをご覧ください。

荒川区議会では、議会活動の状況をお知らせするため、ホームページを開設しています。各定例会の議事内容、議会のしくみ、委員会の開会予定と傍聴案内など、区議会に関する様々な情報を掲載しているほか、本会議の模様を録画中継しています。また、平成20年第2回定例会中に開会された委員会から、会議録が完成するまでの間、その委員会の模様を音声で配信しています。

ぜひご利用ください。  
ホームページアドレス  
<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>



詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



# 区政・行財政の諸課題と南千住地域の街づくりについて



中村尚郎  
(公明党)

**問** 区政・行財政の諸課題について  
西川区長は、数多くの施策を取り巻く環境はまだ冬の時代であり、この試練を乗り越えてこそ、絢爛たる花を薫らせることができる。改めて今日までの総括と引き続き区長の任にあたる決意を問う。

**答** 区の将来を見据え、真に幸福を実感できるまちを築くために全力で区政に邁進し、500を超え施策を展開してきたが、さらなる区政改革が必要である。そのため継続への決意を固めたところであり、今後も全身全霊を捧げ区政運営に当たる所存である。

**問** 区の公会計制度改革の取り組み、複式簿記・発生主義会計システム導入の進捗状況と、公会計改革を予算制度改革にリンクさせ、中長期の財政収支や損益会計へ反映させることについて見解を問う。

**答** 総務省方式改訂モデルによる財務書類、包括年次財務報告書の作成や全庁的な勉強会等を行う。新公会計システムは平成22年度導入を目指し、取り組みを進め、財務書類を最大限活用した財政運営を目指していく。

**問** 債権管理事務について、平成19年度の包括外部監査の結果を受け、今後どう対応するのか。また、回収不能見込債権額等を賃借対照表に明記すべきではないか。

**答** 今後、さらに回収努力をすべく、不納欠損処理手続きの明確化など、指摘に沿って対応していく。回収不能見込債権額は、新公会計制度に基づき、記載できるよう準備していく。

協議しており、今年度中に開発計画をまとめていく。また将来、隅田川駅全体の再開発構想が持ち上がった際には、区の街づくりの活性化につながる開発計画となるようJR貨物に強く働きかけていく。

**問** 白鷺西地区総合病院について、建設工事が遅れているような状況があり、地域では平成21年4月の開業に不安の声も出てくる。当初計画どおり開業ができるのか、区の見解を問う。

**答** 現在、全体工程を調整しながら工事を進めており、開業時期の遅れはないと聞いている。区としては、当初計画どおりの開業に向けて、都と調整を行っていく。

**問** 南千住地域の街づくりについて  
コミュニティバスの運行ルートは、利用者の利便性を第一優先に考え、乗り換えなしで現在運行している「さくら」を汐入まで延伸し、汐入から町屋、区役所まで来られるルートを考えてほしい。

**答** 汐入地域に導入するコミュニティバスについて、現行路線の延伸、新路線への乗り入れは、需要予測や採算性等の課題があり、すべてでは難しいと考えるが、可能な限り要望に応えていく。

**問** セメントサイロ跡地には、南千住のイメージアップに繋がり、地域の活性化が図れる施設を導入すべきと考える。また、JR貨物隅田川駅の全体の開発の可能性も視野に入れ、セメントサイロを含む全体のコンセプトを確立すべき。

**答** 街のシンボルとなるような施設の導入について、JR貨物と

## 意見書提出

本定例会では、3件を可決し関係機関に提出しました。



## 地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書(要旨)

近年、乾燥地域の拡大や水河の後退、異常気象の頻発、海面上昇と指摘される現象が地球規模で顕在化しています。20世紀の間に地球の平均気温も上昇しており、地球温暖化防止に向けた取り組みが喫緊の課題であることは誰の目にも明らかです。

こうした環境・気候変動問題等を主要テーマに、本年7月、日本を議長国として北海道洞爺湖サミットが開催されます。政府においても、タボス会議で福田総理が「クールアース推進構想」を提唱するなど、京都議定書の温室効果ガス削減目標達成のために、地球温暖化対策推進法の改正を進めるなど、所要の温暖化防止対策を講じているところです。

## 原爆症認定制度の抜本的な改善を求める意見書(要旨)

広島・長崎にアメリカ合衆国が投下した原子爆弾の被害を受けた「被爆者健康手帳」の交付を受けている被爆者は全国に約25万人在住していますが、「原爆症」と認定されている被爆者はわずか1パーセントにも満たない状況です。原爆投下から62年が経過した今もなお、多くの被爆者が後遺症に苦しみ健康不安の中で生活を余儀なくされています。

よって、荒川区議会は、政府に対し、サミットの象徴として開催初日の7月7日を「クールアース・デー」と定めることをはじめとした下記の施策の実施により、地球温暖化防止に向けた国民的運動を推進するよう強く要請します。

- 1 北海道洞爺湖サミットの開催初日の7月7日を「クールアース・デー」と宣言し、CO2の削減に向けた実効性の伴う国民的運動を政府主導のもと創出し、その普及、促進に努めること。
- 2 北海道洞爺湖サミット当日は、CO2の削減のため、全国のライトアップ施設や家庭などが連携して電力の使用を一定時間控えるライトダウン運動などの啓発イベントを開催し、地球温暖化防止のために行動する機会の創出に取り組むこと。
- 3 クールビズやウォームビズについて認知度を深めるとともに、温度調節などの実施率を高めること。

(内閣総理大臣・環境大臣あて)

## 携帯電話リサイクルの推進を求める意見書(要旨)

レアメタルを含む非鉄金属は、わが国の産業競争力の要とも言われており、その安定確保はわが国の産業にとって重要な課題です。近年、国際価格の高騰や資源獲得競争の激化により、その確保に懸念が生じています。

貴重な鉱物資源をめぐることのような状況を受け、資源エネルギー庁に設置された「資源戦略研究会」が平成18年にとりまとめた報告書「非鉄金属資源の安定供給確保に向けた戦略」では、使用済み製品に含まれたレアメタルの再利用推進が重視されています。なかでも普及台数が1億台を越えている携帯電話には、リチウム、希土類、インジウム、金、銀などが含まれており、これらを含んだ使用済みの携帯電話は、他のレアメ

タルなどを含む使用済み製品とともに「都市鉱山」として、適切な処理と有用資源の回収が期待されています。

しかし、使用済み携帯電話の回収実績は2000年の約1,362万台をピークに減少傾向が続いており、2006年には約662万台に半減しています。回収率向上のための課題として、携帯電話ユーザーへのリサイクル方法の情報提供、携帯電話のリサイクル活動を行なうMRN(モバイル・リサイクル・ネットワーク)の認知度向上などが指摘されているところです。

よって、荒川区議会は政府に対し、使用済みの携帯電話の適正な処理とレアメタル等の有用資源の回収促進を図るため、早急な対策を講じるよう強く要請します。

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣あて)

## 採択した請願・陳情

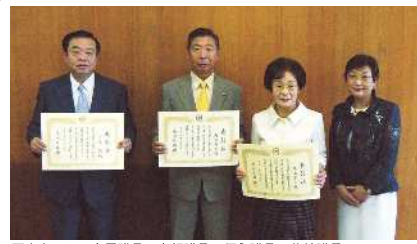
採択  
原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書採択に関する陳情



## 平成20年荒川区議会第3回定例会は9月中旬に開会する予定です。

病の制限についてなお問題があるため、救済されるべき被爆者が救済されないと考えられます。よって、荒川区議会は国会及び政府に対し、原爆症認定制度を被爆者本位の制度に改めるため、認定審査の基準を原爆被害の実態に見合ったものに改善するとともに、各地方裁判所での判決を受け入れ、控訴を断念するよう強く要請します。

永年在職議員表彰



写真左から 守屋議員、鳥飼議員、須永議員、若林議長

守屋誠議員、鳥飼秀夫議員、鈴木堅之議員、須永京子議員が、平成20年7月3日の本会議において、区議会の決議により永年在職議員として表彰されました。



全国市議会議長会における議員表彰

5月28日に開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として5人の議員が表彰されました。

25年在職議員

- 守屋 誠 議員
鳥飼 秀夫 議員
鈴木 堅之 議員
須永 京子 議員

15年在職議員

- 小坂 眞三 議員



鈴木堅之議員逝去



荒川区議会議員鈴木堅之氏(享年70歳)は、7月5日逝去されました。

氏は、昭和58年荒川区議会議員になられて以来、25年余にわたり区政に貢献されました。

議案の審議結果

平成20年第2回定例会

○賛成 ×反対 一退席
太字は討論のあったことを示す

Table with columns for bill number, name, party, and result. Includes sections for Council Member Proposals (3 items) and District Chief Proposals (10 items).

本会議場 議席図 (平成20年6月20日現在)

Seating chart for the main assembly hall, showing various departments and council members seated at tables.

傍聴席 (80席)

Legend for the listening seats, listing political parties and their corresponding colors.